



おもちゃ箱ふれあいの丘 事業者向け 放課後デイサービス自己評価表

公開日：2023年 9月末日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・放課後デイ・児発が関わる時間帯は狭い ・利用人数によっては狭い ・学年が上がるにつれて体格も大きくなるのでやや手狭な時もある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか	7		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・視覚的認識が出来るように提示物などをわかりやすくしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・日々清掃の担当を振り分け月末にチェックを行い都度改善に努めている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・別室でのクールダウンのためパーテーションを利用して空間を作っている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・必要に応じて職員間できちんとコミュニケーションを取るようになっている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・外部評価は薄め ・HUGシステム導入で個々の保護者からの要望などの声が発信しやすくなっている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・定期的に研修が行われている
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HUGシステム上で行われている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・年二回モニタリング面談を行っている
	13	放課後デイ等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子供支援に関わる職員が共有理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・個別支援計画作会議内で職員間の意見交換をし、共有している

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・職員がいつでも確認の取れるように固定のファイルにて紙面での保管もしている ・毎月のスタッフ研修にて共有している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		
	16	放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の負担が大きないように感じる ・毎月決められた企画担当以外でも代替案として都度様々なスタッフが交代で企画立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月同じ内容ばかりにならないよう児童が楽しく出来るような活動を提案し合っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書の立案～チェックを経てから実行している ・事前の企画書に基づき勝地宇当日には全体共有をして周知している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とのやりとりやどう対応すべきだったのかを確認している ・朝礼時に前日の共有をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・HUGシステムの支援記録にて其々の児童担当者が都度記入している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関にそのこどもの状況をよく理解した物が参加しているか。	7		

関係機関 や保護者 との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・地域の保険や医療との連携は未熟に感じる
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整	7		
	29	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	・現在幼稚園との共有などは行っていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を共有する等しているか。	6	1	・近々必要となってくるので諸々の情報提供のための準備が必要と感じる
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・ログハウスやあゆみ荘などの地域施設の利用をしている ・他事業所との合同イベントに参加している ・年一回のふれあい祭りにて地域交流をしている
	33	(自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか。	6	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・随時外部主催のイベントのチラシなどの配布、LINE@での情報共有を行っている
	保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	
37		放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・年二回のモニタリング面談および都度送迎時やHUGシステムなどで情報の交換をはじめ適宜対応している
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	6	1	・必要に応じて保護者会を行っている

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・支度の中で有力な情報は送迎時に保護者にお伝えしている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・定期的にSST学習として各マニュアル訓練をゲーム形式などで行っている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年二回(6月・11月)避難訓練を実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・事前の準備は非h津陽と思う ・食物アレルギーの児童は現在いない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・都度ヒヤリハット事例が起きた際に記入及び周知して再発防止に努めている 前例を参考に事前に対処できるように共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		